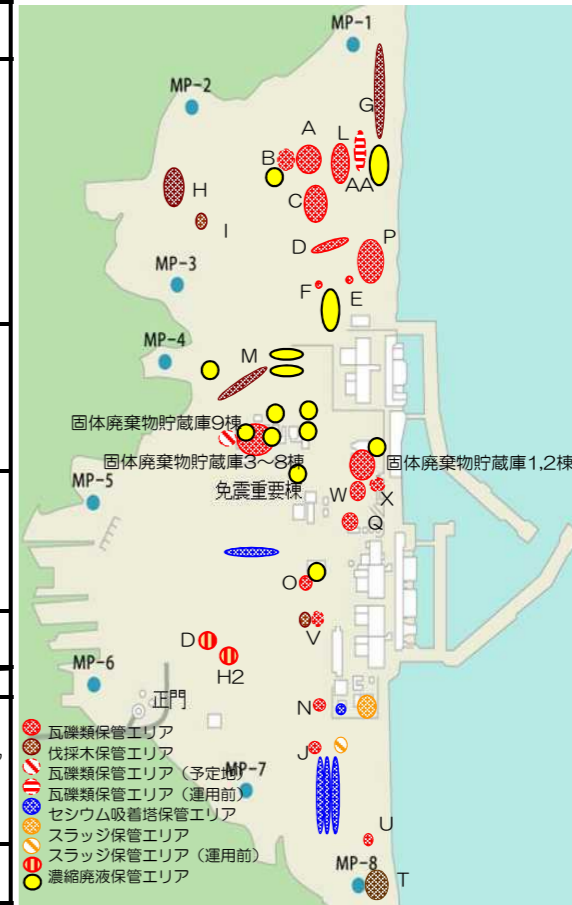


瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2017.4.30 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量*1	前回報告比 (2017.4.27)	変動*3 理由	エリア 占有率	保管量/保管容量 (割合)	トピックス
瓦礫類 屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.01	2,800 m ³	0 m ³	—	85 %	147900 / 214300 (69%)	<ul style="list-style-type: none"> フランジタンク解体片 エリアPにて一時保管中。(2015年6月15日～) 2017年4月末時点で380基(コンテナ)保管。 2017年4月3日より、新設エリアV追加、エリアJ・Oは保管容量増加。
	C	屋外集積	0.01未満	54,800 m ³	+500 m ³	①②③	87 %		
	F	屋外集積	0.01未満	6,400 m ³	0 m ³	—	85 %		
	J	屋外集積	0.01	4,300 m ³	0 m ³	—	53 %		
	N	屋外集積	0.01	4,500 m ³	0 m ³	—	45 %		
	O	屋外集積	0.01未満	31,600 m ³	+5,400 m ³	④⑤	61 %		
	P	屋外集積	0.01	42,100 m ³	+200 m ³	③	66 %		
瓦礫類 シート養生 (0.1~1mSv/h)	U	屋外集積	0.01未満	0 m ³	-700 m ³	⑥	0 %	30900 / 71000 (44%)	<ul style="list-style-type: none"> エリアWは、車両解体(プレス等)及びエリア内配置整理により保管容量減。 2017年4月3日より、新設エリアX追加、エリアDは保管容量増加。
	V	屋外集積	0.01	1,400 m ⁴	+1,400 m ⁴	④⑤	23 %		
	D	シート養生	0.01未満	2,600 m ³	0 m ³	—	58 %		
	E	シート養生	0.02	13,000 m ³	+100 m ³	③	81 %		
瓦礫類 覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1~30mSv/h)	P	シート養生	0.02	5,500 m ³	微増	—	62 %	20800 / 27700 (75%)	<ul style="list-style-type: none"> 主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。
	W	シート養生	0.05	9,000 m ³	-500 m ³	⑦⑧	31 %		
	X	シート養生	0.01未満	800 m ⁵	+800 m ⁵	②⑤⑨	7 %		
	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	12,000 m ³	0 m ³	—	100 %		
瓦礫類 固体廃棄物貯蔵庫	A	仮設保管設備	0.30	2,200 m ³	+200 m ³	②	31 %	8300 / 12000 (69%)	<ul style="list-style-type: none"> 主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。
	E	容器*4	0.02	300 m ³	0 m ³	—	19 %		
	F	容器	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	99 %		
伐採木 屋外集積 (幹・根・枝・葉)	Q	容器	0.09	5,700 m ³	0 m ³	—	93 %	79500 / 144500 (55%)	<ul style="list-style-type: none"> 2017年4月3日より、新設エリアG(幹・根・枝・葉)追加、エリアHは保管容量増加。
	G	屋外集積	0.01未満	7,100 m ³	+7,100 m ³	①	18 %		
	I	屋外集積	-	0 m ³	0 m ³	—	0 %		
	H	屋外集積	0.01未満	32,900 m ³	+18,200 m ³	①⑤	77 %		
伐採木 一時保管槽 (枝・葉)	M	屋外集積	0.01未満	39,500 m ³	微増	—	88 %	19600 / 24900 (79%)	<ul style="list-style-type: none"> 2017年2月12日~雑固体焼却設備点検停止中 使用済保護衣等焼却量 1519t (2017年4月末累積) 焼却灰のドラム缶数 280本 (2017年4月末累積)
	V	屋外集積	0.01	0 m ³	-4,300 m ³	⑩	0 %		
保護衣 屋外集積	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	8,500 m ³	0 m ³	—	65 %	67500 / 71200 (95%)	<ul style="list-style-type: none"> 2017年2月12日~雑固体焼却設備点検停止中 使用済保護衣等焼却量 1519t (2017年4月末累積) 焼却灰のドラム缶数 280本 (2017年4月末累積)
	T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m ³	0 m ³	—	94 %		
合計(ガレキ)				207,900 m ³	+7,500 m ³	—	64 %		
合計(伐採木)				99,100 m ³	+21,000 m ³	—	59 %		
合計(使用済保護衣等)				67,500 m ³	+700 m ³	—	95 %		
仮設 瓦礫類	U(仮設分)	屋外集積		700 m ³	+700 m ³	⑥		<ul style="list-style-type: none"> タンク設置スペース確保に伴い、エリアJより持込み。 	
	V(仮設分)	屋外集積		4,300 m ³	+4,300 m ³	⑩		<ul style="list-style-type: none"> 伐採木のチップ化処理作業に伴い、エリアVより持込み。 	
合計(仮設運用エリア)				5,000 m ³	+5,000 m ³	—			

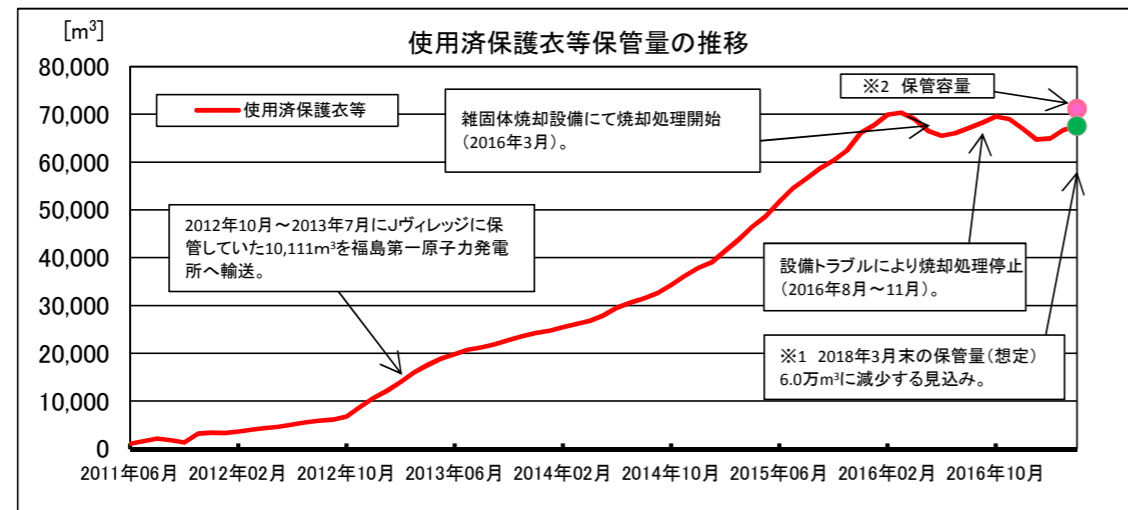
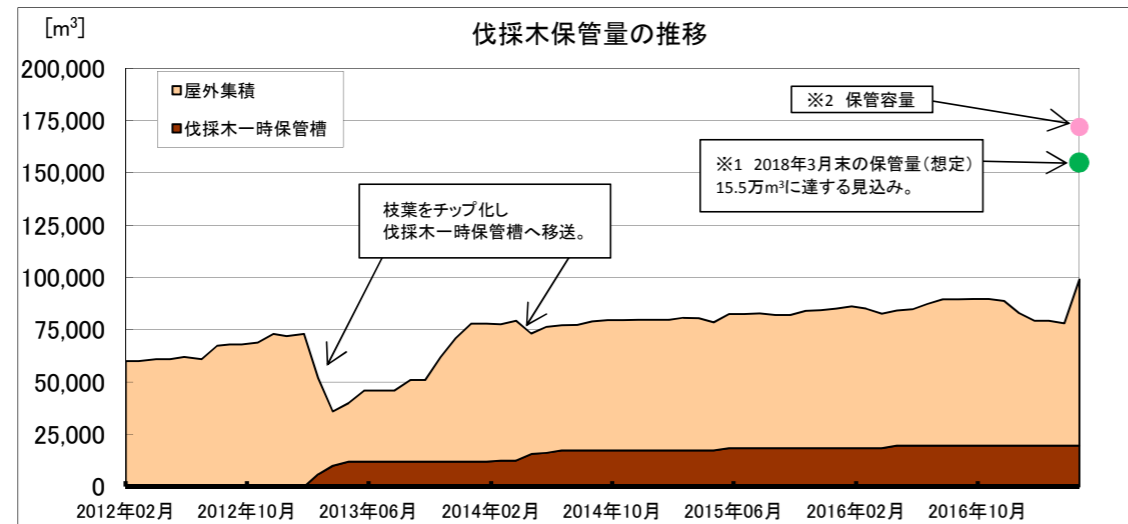
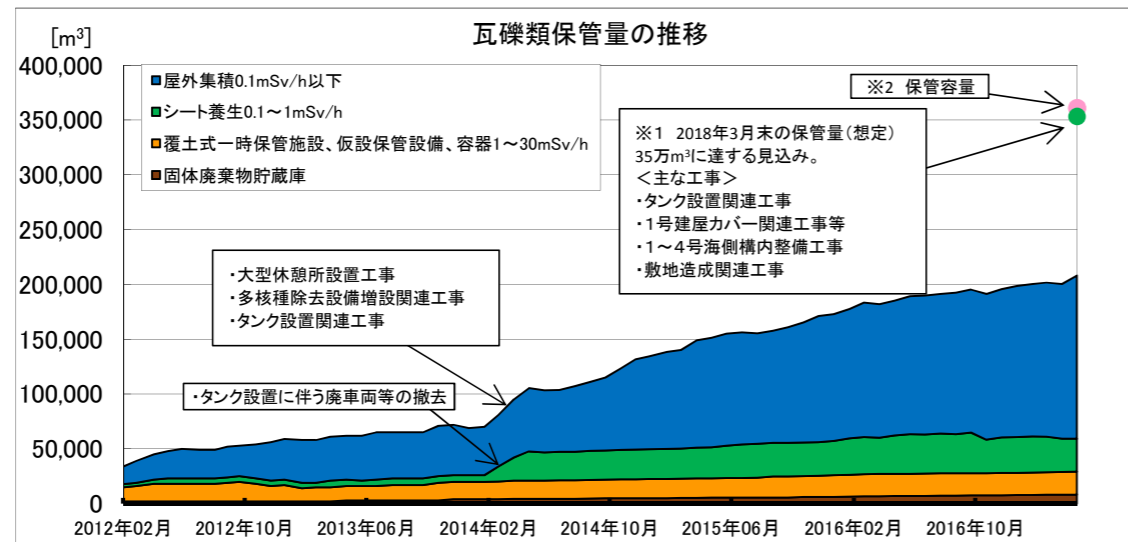
※1 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
 ※2 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。
 ※3 主な変動理由：①敷地造成関連工事 ②1~4号建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ③タンク関連設置工事 ④焼却対象物の受入 ⑤実施計画変更認可により正式運用開始 ⑥タンク設置に伴い瓦礫の取出
 ⑦車両解体工事 ⑧エリア整理 ⑨一時保管エリアWから瓦礫の受入 ⑩水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)の保管 ⑪チップ化処理のため伐採木の取出 ⑫使用済保護衣等の受入
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。



水処理二次廃棄物の管理状況(2017.5.18時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回報告比 (2017.4.27)	保管量/保管容量 (割合)	トピックス
水処理 二次 廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済バケツ	758 本	0 本	3628 / 6239 (58%)	<ul style="list-style-type: none"> 吸着塔一時保管施設の増容量が認可(2015年12月14日)
		第二セシウム吸着装置使用済バケツ	188 本	+2 本		
		多核種除去設備等保管容器	1,365 基	+8 基		
		高性能多核種除去設備使用済バケツ	73 本	0 本		
		多核種除去設備処理カラム	9 塔	0 塔		
		モバイル式処理装置等使用済バケツ及びフィルタ類	191 本	+1 本		
水処理 二次 廃棄物	廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ	597 m ³	0 m ³	597 / 700 (85%)	<ul style="list-style-type: none"> 除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。
		濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,379 m ³	+23 m ³	9379 / 10700 (88%)

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2017.4.30 時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2017年3月1日認可)の予測値を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、実施計画(2017年3月1日認可)の保管容量の運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2017.5.18時点)

